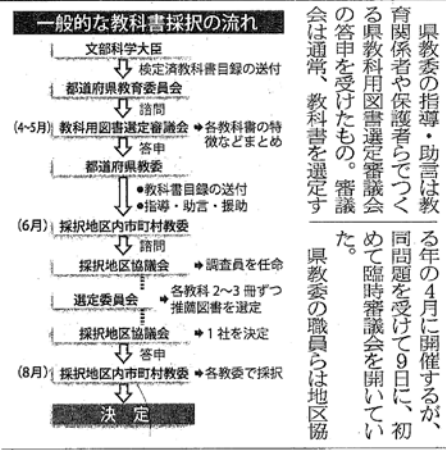


# 県教委、異例の直接指導

## 八重山教科書協 構成変えず選定

【八重山】八重山地区の中学校教科書の選定をめぐる問題で、県教育委員会は10日、石垣市に職員を派遣し、教科用図書八重山採択地区協議会会長・玉津博克（石垣市教育長）の協議会委員に住民の理解を得られるような議論を促す、異例の指導、助言をした。協議会の臨時会では県教委が従来から要請してきた委員の追加について議題に上がったが、9日の役員会に引き続き、追加は認められなかった。県教委の要請は聞き入れられず、協議会は現行の委員構成、制度のまま、23日に選定を行う。

協議会委員に「適正な採択に」の努力を促した。一方、同日の臨時会では委員の一人から協議会の責任の質を高めようと、校長代表を委員に追加する動議が提案されたが、賛成少数で否決されたという。玉津会長は県教委の再三の要請や指導について「しっかりと応えられるようなことはやっている。採択が決まれば、市民に対して議



県教委の指導・助言は数々の年4月に開催するが、関係者や保護者らでつくられる教科用図書選定会を経て9日に、初めは通常、教科書を選定する。県教委の職員らは地区協議会に「適切な採択に」の努力を促した。一方、同日の臨時会では委員の一人から協議会の責任の質を高めようと、校長代表を委員に追加する動議が提案されたが、賛成少数で否決されたという。玉津会長は県教委の再三の要請や指導について「しっかりと応えられるようなことはやっている。採択が決まれば、市民に対して議

事録を公開する」と強調。その上で、委員の名簿は非公表とし「中立性を保ちながら自由な意見を言ってもらうために、協議会是非公開、無記名投票で行う」と述べた。県教育庁義務教育課の狩俣智課長は、協議会が委員追加を受け入れなかったことについて「話し合いで決まったのなら、県の立場としてはこれ以上何も言えない」とする一方、「住民の理解を得られるよう、粘り強く議論することがいい教育につながる」と促した。県八重山教育事務所所長の良学所長は協議会委員に対し「静かな環境の中で教科書と向き合って、子どものために教科書を選んでほしい」と求めた。

### 4地区 選定作業終了

中学教科書は、八重山を含め県内6カ所の教育事務所ごとに採択される。10日現在、国頭（10市町村）、中頭（9市町村）、島尻（15市町村）、宮古（2市町村）の採択地区協議会選定作業を終えた。那覇（2市）は18日に採択する見通し。教育関係者が問題視している「新しい歴史教科書をつくる会」系の自由社、育鵬社版の各社会科学教科書

### 「つくる会系」 杉並採択せず

東京都杉並区教育委員会は10日、定例会を開き、来春から4年間区立中学で使用

する歴史教科書として、帝國書院発行の教科書を選定した。杉並区ではこれまで「新しい歴史教科書をつくる会」と協力した扶桑社発行の教科書を使用していた。定例会では教育委員5人が審議し、歴史は7社の中から3人が帝國書院版を選んだ。中学歴史教科書の採択をめぐるのは、横浜市教委が今月、全市立中学などで使用する教科書として、扶桑社の教科書を継承する育鵬社の教科書を選定した。